

日本農学アカデミー 第15回総会報告

第15回総会は、平成24年7月14日（土）13時30分より東京大学大学院農学生命科学研究科フードサイエンス棟1F中嶋董一郎記念ホールで行われた。出席会員数は146名（含：委任状119名）で総会は成立した。総会では下記の議案について審議が行われ、いずれの議案も承認された。総会に先立ち開催された理事会には、理事12名（含：委任状4名）、監事1名が出席した。

なお、総会終了後14時45分よりミニシンポジウムとして「農林水産業の六次産業化による地域振興の諸問題」が開催された。今回は、今秋の本シンポジウムへ向けた勉強会であったため会員のみ案内を出したが、多くの会員の出席があり、活発な議論がなされ盛会であった。

日本農学アカデミー第15回総会 総会資料

第1号議案 平成23年度事業報告（案）について

1. 会員数の状況 正会員 213名（特別顧問9名及び長期会費未納者7名を含む.）、賛助会員2団体
平成23・24年度の入会者（別紙①）（平成24年7月1日現在）

2. シンポジウムの開催（別紙②）

3. ミニシンポジウムの開催

- （1）日 時 平成23年7月16日（土） 15:00～17:00
- （2）場 所 東京大学農学部フードサイエンス棟2階
中嶋董一郎記念ホール
- （3）テーマ 東日本大震災調査研究報告
- （4）内 容
 - ・ 話題提供
 - ① 「放射能汚染と食品安全」
NARO 食品総合研究所所長 林 清
 - ② 「未曾有の農地損壊—穀倉は立ち直れるか」
NARO 農村工学研究所研究領域長 中 達雄
 - ③ 「寸断された食糧サプライチェーン」
エバラ食品工業株式会社執行役員研究本部長 浅野 高幸
 - ・ 総司会 日本農学アカデミー副会長 山野井 昭雄

4. 会報の発行

会報については、平成 20 年度から冊子での発行をやめてホームページに掲載することとしたが、23 年度は 15 号（6 月）及び 16 号（12 月）を作成し、ホームページに掲載した。

5. 会報等収録の CD の作成

会報第 1 号から第 16 号までを収録した CD を作成し、全会員に配布した。

6. 学術シンポジウム等の後援及び助成

理事会の承認を受け、次のシンポジウム等の後援及び助成を行った

(1) 中山間地域フォーラム主催の公開シンポジウム「『早期帰村』実現の課題—福島県飯館村」の後援及び助成

(2) 日本学術会議農業生産環境工学分科会等主催の公開シンポジウム「気候変動条件下での風環境の変化・影響」の後援及び助成

(シンポジウム等のテーマ、助成金額等の詳細は、別紙③)

7. 総会、理事会等の開催

(1) 幹事会の開催

ア 日 時 平成 23 年 5 月 17 日（火） 16:00～17:30

イ 場 所 東京大学農学部弥生講堂内会議室

ウ 議 題 ① 第 14 回総会の議案案件について
② 理事会の案件について
③ シンポジウム及びミニシンポジウムの開催について
④ その他

(2) 理事会の開催

ア 日 時 平成 23 年 7 月 16 日（土） 11:30～13:15

イ 場 所 東京大学農学部 3 号館 1 階 1 4 1 室

ウ 議 題 ① 第 14 回総会の議案案件について
② シンポジウム及びミニシンポジウムについて
③ 学術シンポジウム等の助成に関する規定について
④ その他

(3) 第 14 回総会の開催

ア 日 時 平成 23 年 7 月 16 日（土） 13:30～14:30

イ 場 所 東京大学農学部フードサイエンス棟

中嶋堇一郎記念ホール

ウ 議 題 (ア) 平成 22 年度事業報告（案）について

- (イ) 平成 22 年度収支決算（案）について
- (ウ) 平成 23 年度事業計画（案）について
- (エ) 平成 23 年度予算（案）について
- (オ) 特別顧問の承認について
- (カ) その他

8. ホームページの充実

諸情報を逐次更新するとともに、会報 15 号及び 16 号を掲載するなど内容の充実を図った。

(参考) 日本農学アカデミーURL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aaaj>

第 2 号議案 平成 23 年度収支決算（案）について（別紙④及び別紙⑤）

別紙④は収支決算書（案）、別紙⑤は監査報告

第 3 号議案 平成 24 年度事業計画（案）について

1. 会員の拡大
2. 会報第 17 号及び 18 号の作成（6 月 25 日に会報 17 号を H.P に掲載）
3. ミニシンポジウムの開催
(別紙⑥)
4. シンポジウムの開催等
5. 総会，理事会等の開催
6. ホームページの充実
7. 農学諸問題に関する調査等を実施し，日本農学アカデミー声明，提言及び会長談話等の発出
8. その他本会の目的を達成するために必要な事業

第 4 号議案 平成 24 年度予算（案）について（別紙⑦）

第 5 号議案 第 7 期役員（理事，監事）の承認について（別紙⑧）

第 6 号議案 第 7 期役員（会長，副会長）の承認について（別紙⑧）

別紙①

新規入会者（23年度（7月1日以降）～24年度（7月2日まで））

1. 23年度の新規入会者（23年7月1日以降入会）

河野 英一 日本大学生物資源科学部長

2. 24年度新規入会者

中村 宗一郎 信州大学農学部長（学部長会議）

寺田 文典 農研機構 九州・沖縄農業研究センター所長

小島 昭夫 農研機構 野菜・茶業研究所所長

土肥 宏志 農研機構 畜産・草地研究所所長

両角 和夫 東京農業大学総合研究所教授

佐々木 卓治 東京農業大学総合研究所教授

寺島 一男 農研機構中央農業総合研究センター所長

中嶋 康博 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

岸田 義典 (株)新農林社社長

清水 浩 京都大学大学院農学研究科教授

宮下 和夫 北海道大学大学院水産科学研究院教授

吉川 泰弘 千葉科学大学副学長

(24. 7. 2 現在)

別紙②

◎シンポジウムの開催実績

I 「消費者の不安に農学者が答える」—大震災・原発事故・食の安全—

1. 日 時 平成 23 年 6 月 1 日 (水) 13:00~17:00
2. 場 所 東京大学農学部弥生講堂一条ホール
3. 主 催 日本農学アカデミー・(財) 農学会
4. 内 容
総合司会
日本農学アカデミー副会長・(財) 農学会理事 林 良博
話題提供
1. 「農地、農作物の放射線汚染をどう見るか」
元農業環境技術研究所放射性同位元素研究室長 結田 康一
2. 「水産物の放射線汚染をどうみるか」
元中央水産研究所海洋放射能研究室長 金井 克晃
3. 「水と土と緑を甦らせるために」
東京大学大学院農学生命科学研究科教授
日本農学アカデミー会員 宮崎 毅
4. 「メディアはどうか報道しているか」
信濃毎日新聞社代表取締役副社長 猪股 征一

II 「東日本大震災の被害の実態と復興のシナリオ」

1. 日 時 平成 23 年 7 月 9 日 (土) 13:00~17:00
2. 場 所 東京農業大学百周年記念講堂
3. 主 催 日本農学アカデミー・実践総合農学会
4. 内 容
趣旨説明 東京農業大学教授 駒村 正治
第1報告
農地・水利施設等の農業生産基盤への被害実態と復旧・復興
(独) NARO 農村工学研究所所長
日本農学アカデミー会員 高橋 順二
第2報告
農耕地の塩害対策と土壌・ゼオライト中のセシウムの挙動
—相馬市におけるイチゴハウスの塩害復興シナリオを中心に—
東京農業大学教授 後藤 逸男
第3報告
放射線汚染と食品安全性 (風評被害を含む)
(独) NARO 食品総合研究所所長
日本農学アカデミー会員 林 清

第4報告

農業経営への被害と復興シナリオ

ー東京農業大学緊急プロジェクトー

東京農業大学教授・

日本農学アカデミー会員 門間 敏幸

◎パネルディスカッション

震災からの復興と新たな農業経営の展望ー農業経営者大いに語るー

司 会 東京農業大学客員教授・

日本農学アカデミー会員 中川 昭一郎

Ⅲ「集中豪雨と山地災害ー表層崩壊と深層崩壊ー」

1. 日 時 平成 23 年 12 月 18 日 (日) 13:30~17:30

2. 場 所 東京大学農学部弥生講堂一条ホール

3. 主 催 日本農学アカデミー・(財)農学会

4. 内 容

総合司会

日本農学アカデミー理事・森林総合研究所理事長 鈴木 和夫

講 演

(1)「近年の集中豪雨について」

気象研究所気候研究部長 鬼頭 昭雄

(2)「豪雨と地震による斜面災害」

京都大学名誉教授、ICL 理事長 佐々 恭二

(3)「表層崩壊と深層崩壊について」

東京大学名誉教授・日本農学アカデミー会員 太田 猛彦

(4)「平成 23 年台風 12 号による紀伊半島の山地崩壊」

森林総合研究所 大丸 裕武・落合 博貴

(5) 総合討論

司 会 森林総合研究所理事長・

日本農学アカデミー会員 鈴木 和夫

Ⅳ「放射能除染の土壌科学」ー森・田・畑から家庭菜園までー

1. 日 時 平成 24 年 3 月 14 日 (水) 13:00~17:00

2. 場 所 日本学術会議講堂

3. 主 催 日本学術会議土壌科学分科会・日本農学アカデミー

4. 内 容

総合司会 日本学術会議土壌科学分科会副委員長・

日本農学アカデミー会員 宮崎 毅

講演

(1) 放射能汚染の枠組み

日本学術会議土壌科学分科会委員長 三輪 睿太郎

(2) 森林、土壌と作物の汚染

① 森林の放射能汚染と除染

(独) 森林総合研究所立地環境領域長 金子 真司

② 福島県における作物と土壌の汚染

福島県農業総合センター生産環境部環境、作物栄養科長
佐藤 睦人

③ 作物影響の新知見

東京大学生産・環境生物学教授 根本 圭介

④ 土壌汚染の新知見

東京大学生物・環境工学教授 塩沢 昌

⑤ ショートコメント 放射能の生物濃縮

東京大学名誉教授・日本農学アカデミー会員 森 敏

(3) セシウムの土壌科学

京都府立大学生命環境科学研究科助教 中尾 淳

(4) 森・田畑土壌の除染

① 農水省の除染マニュアルとその考え方

(独) 農業環境技術研究所理事長・
日本農学アカデミー会員 宮下 清貴

② 農地と森林除染の新たな試み

東京大学農学部教授 溝口 勝

③ ショートコメント 建設土木技術の応用

日本土壌協会会長 松本 聰

総合質疑 (みんなの疑問・私の考え)

司会 日本学術会議土壌科学分科会委員長 三輪 睿太郎

別紙③

日本農学アカデミー平成23年度支援シンポジウム一覧

1. 中山間地域フォーラム5周年記念シンポジウム
『『早期帰村』実現の課題—福島県飯館村』
日時：平成23年7月10日（日）14：00～17：30
場所：東京大学農学部弥生講堂一条ホール
主催：中山間地域フォーラム
共催：日本農学アカデミー、(財)農学会、東京大学大学院農学生命科学研究科
後援：全国水源の里連絡協議会、地球緑化センター
経費負担：3万円
2. 公開シンポジウム「気候変動条件下での風環境の変化・影響」
日時：平成24年3月21日（水）9：30～17：00
場所：日本学術会議5階会議室
主催：日本学術会議農業生産環境工学分科会、第57回風に関するシンポジウム
開催17学会
後援：日本農学アカデミー
経費負担：3万円

別紙④ 日本農学アカデミー 平成 23 年度収支決算書 (案)

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
I 収入の部				
前年度からの繰越金	3,455,863	3,455,863	0	
会費収入	2,065,000	1,810,000	255,000	正会員分 1,710,000 円 賛助会員分 100,000 円
雑収入	0	2,062	△2,062	懇親会参加費残額
預金利息	1,100	705	395	
収入合計 (A)	5,521,963	5,268,630	253,333	
II 支出の部				
会議費	245,000	236,135	8,865	総会、幹事会、シンポジウム等
諸謝金	200,000	279,920	△ 79,920	シンポジウム講師謝金
通信運搬費	112,000	66,695	45,305	総会・シンポジウム案内等、 切手・葉書
消耗品費	20,000	10,980	9,020	事務用消耗品
図書購入費	881,000	925,796	△ 44,796	月刊「学術の動向」購入費
印刷製本費	131,000	143,620	△ 12,620	CD(会報 1 号～16 号)、封筒
シンポジウム等助成費	450,000	60,000	390,000	シンポジウム等の助成
ホームページ管理費	180,000	180,000	0	ホームページ更新料等
諸経費	200,000	200,000	0	電話料等事務管理費
振込手数料	21,000	19,495	1,505	会費払込料加入者負担等
予備費	100,000	0	100,000	
支出合計 (B)	2,540,000	2,122,641	417,359	
次年度への繰越金 (A)-(B)	2,981,963	3,145,989	△ 164,026	

預貯金残高

内 訳	金 額
郵便貯金	79,306
三井住友銀行定期預金	1,000,000

三井住友銀行普通預金	2,066,683
計	3,145,989

別紙⑥

日本農学アカデミーミニシンポジウム



農林水産業の六次産業化による 地域振興の諸問題

日 時 平成 24 年 7 月 14 日 (土) 14 時 45 分～17 時 15 分
場 所 東京大学農学部フードサイエンス棟 2F
中島董一郎記念ホール

プログラム

開会挨拶 日本農学アカデミー会長 三輪 睿太郎

話題提供

- 1 農業政策のポイント
農水省食料産業局食品小売サービス課外食産業室長 山口 靖
- 2 地域の可能性を追いかけて (仮題)
東京農業大学総合研究所環境共生専攻教授 両角 和夫
- 3 農業経済学の立場から (仮題)
東京大学大学院農学生命科学研究科教授 中嶋 康博
- 4 漁業・水産加工と漁村振興
東京大学大学院農学生命科学研究科教授 黒倉 壽
- 5 農業による地域振興に向けての一視点
NPO 法人国際生命科学研究機構 (ILSI Japan) 理事長 西山 徹

総合討論

司 会 日本農学アカデミー会長 三輪 睿太郎

主 催 日本農学アカデミー

別紙⑦

日本農学アカデミー 平成24年度予算(案)
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収入の部		
前年度からの繰越金	3,145,989	
会費収入	2,025,000	正会員 197名、賛助会員 2団体
預貯金利息	800	23年度実績
収入合計 (A)	5,171,789	
II 支出の部		
会議費	253,000	総会、幹事会、シンポジウム運営費等
諸謝金	250,000	シンポジウム 講師謝金等
通信運搬費	112,000	総会等案内、シンポジウム案内等、切手、
消耗品費	20,000	事務用消耗品
印刷製本費	178,000	ポスター、封筒等
図書購入費	961,000	月刊「学術の動向」購入費(120* @667*12月)
シンポジウム等助成費	150,000	シンポジウム等の助成@30,000(5件)
ホームページ管理費	180,000	ホームページ更新料等
業務委託費	200,000	電話料等事務管理費
振込手数料	23,000	会費振込手数料(加入者負担)
予備費	100,000	
支出合計 (B)	2,427,000	
次年度への繰越金 (A)-(B)	2,744,789	

別紙⑧

第7期日本農学アカデミー役員（案）

（平成24年7月14日決定）

会長・理事	三輪 睿太郎	東京農業大学総合研究所教授
副会長・理事	會田 勝美	(独)日本学術振興会監事
	(総務企画委員会担当)	
副会長・理事	生源寺 眞一	名古屋大学大学院生命農学研究科教授
副会長・理事	西澤 直子	日本学術会議第2部会員
副会長・理事	林 良博	東京農業大学農学部バイオセラピー学科教授
	(学術情報委員会担当)	
副会長・理事	山野井 昭雄	味の素(株)社友
理事	石毛 光雄	(独)農業生物資源研究所理事長
理事	岩永 勝	(独)国際農林水産業研究センター理事長
理事	古在 豊樹	千葉大学環境健康フィールド 科学センター客員教授
理事	進士 五十八	東京農業大学名誉教授
理事	鈴木 和夫	(独)森林総合研究所理事長
理事	谷口 旭	東京農業大学生物産業学部 アクアバイオ学科教授
理事	寺島 一男	(独)農研機構 中央農業総合研究センター所長
理事	長澤 寛道	東京大学大学院農学生命科学研究科長
理事	堀江 武	(独)農研機構理事長
理事	松里 寿彦	(独)水産総合研究センター理事長
理事	松田 幹	名古屋大学大学院生命農学研究科教授
理事	陽 捷行	北里大学副学長・教授
	(特別企画担当)	
理事	宮下 清貴	(独)農業環境技術研究所理事長
理事	矢野 秀雄	(独)家畜改良センター理事長
監事	梶浦 一郎	NTC インターナショナル(株) 技術本部技術部顧問
監事	笹尾 彰	前東京農工大学副学長

(五十音順)